

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた高知県誘客戦略（案）

I 基本方針

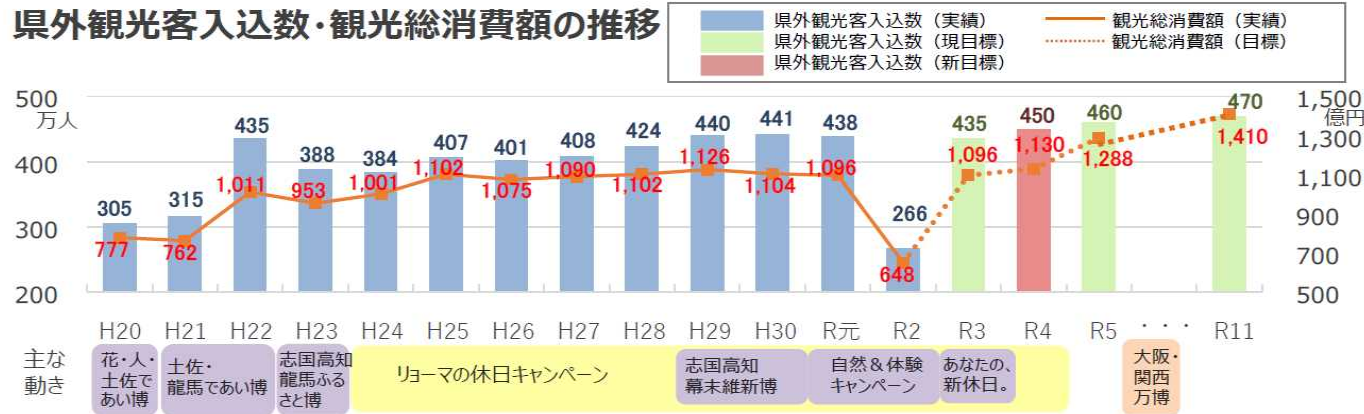
コロナ禍による旅行ニーズや旅のスタイルの変化に対応し、落ち込んだ県内観光需要の早期回復を図る

II 目標値

R4年の目標

- ① 県外観光客入込数 450万人
- ② 観光総消費額 1,130億円

県外観光客入込数・観光総消費額の推移



III 戦略の柱

柱1

受入施設の感染症対策の徹底と情報発信

(対策案)

- ① 旅館・ホテルの感染症対策を支援する補助制度の創設 (R3.6補正)
- ② 飲食店の認証制度 (高知家あんしん会食推進の店) (健康政策部)
- ③ ①②による対策に関する情報発信

柱2

コロナ収束後の旅行需要の回復に乗り遅れることがないように速やかな需要喚起策を講じる

(対策案)

- ① 10月以降「リカバリーキャンペーン」の対象エリアを拡大
- ② R4.1月～R5.3月の15ヶ月間を意識した観光キャンペーンの実施

柱3

多様な過ごし方の提案による消費額向上と長期滞在の促進

(対策案)

- ① 宿泊施設の魅力向上やコンシェルジュ機能強化のための支援
- ② 宿泊施設と周辺の観光資源を組み合わせた着地型商品の販売強化
- ③ 一人あたりの消費単価を上げるための観光素材の高付加価値化

柱4

「自然体験」「食」「歴史文化」を前面に押し出した「リョーマの休日」キャンペーンの継続

(対策案)

- ① 「食」を前面に出したキャンペーン展開【R4.1から展開】
- ② 季節ごとに誘客効果の高い観光素材を発信
- ③ サステナブルツーリズム (SDGs観光) の推進